

長寿と健康をお祝いしましょう
9月は「**老人敬愛の月**」

閩福祉課総務係 ☎ 63-1406



9月16日(月・祝)は敬老の日です。この日を中心に、老人福祉週間行事(敬老行事)が全国的に行われます。市の敬老行事を紹介します。

- ①**敬老大会**
 9月7日(土)、荒尾市老人クラブ連合会と共催で、午前9時30分から文化センター大ホールにて、米寿の人に記念品を贈呈します。保育園児の遊戯、老人クラブ会員による地区選抜演芸大会、福引などのアトラクションを行います。入場無料です。
- ②**長寿者訪問**
 本年度中に100歳を迎えられる高齢者に対し、内閣総理大臣からの祝状とお祝いの品を贈呈します。また、本市の最高齢者にもお祝い品を贈呈します。

- ③**潮湯の無料開放**
 9月10日(火)～14日(土)、午前9時30分～午後4時の期間中、「潮湯使用証」を提示すると無料で入館できます。持っていない人は、潮湯(☎62-1610)に問い合わせください。潮湯は60歳以上の人とその介護者しか利用できません。
- ④**金婚夫婦表彰式**
 9月26日(木)、熊本日日新聞社と共催で、午前10時から文化センター小ホールにて、結婚50年を迎えられたご夫婦(申込者)を表彰し、記念品を贈呈します。

お子さんのいざというときに備える安心サービス
病児保育施設の開所時間が変わります

閩子育て支援課給付係 ☎ 63-1417

病児保育とは、看護師や保育士などの専門スタッフが保護者に代わって保育を行う子育て支援サービスです。仕事の都合などで病気の子どもを家庭で保育するのが難しいときに利用できます。

- 開所時間**
 月～金曜：午前8時～午後6時
 土曜：午前8時～午後0時30分
 ※日曜・祝祭日と、こどもクリニック友枝が休診の時は休み。
- 変更点**
 月に1度、開所時間が午後2時までになる日があります。詳しくは、市のホームページに掲載しておりますのでご確認ください。

- 実施施設** 病児保育施設キューピット(こどもクリニック友枝併設) 荒尾 4160-256 ☎ 65-8181

「**介護料支給制度**」を知っていますか

閩自動車事故対策機構熊本支所 ☎ 096-322-5229

自動車事故対策機構(略称：ナスバ)では、自動車事故による被害者への支援を行っています。

- 支給額**
 常時要介護の人(最重度)：月額82,810円～209,430円
 常時要介護の人：月額70,790円～165,150円
 随時要介護の人：月額35,400円～82,850円
 ※介護料の給付を受けるためには、要件があります。制度に関する詳細は、ホームページをご覧ください。

- 対象者**
 自動車事故で脳、脊髄、胸腹部臓器を損傷し、重度の後遺障害を持つため、移動、食事や排せつなどの日常生活動作に「常時」または「随時」の介護が必要となった人

いきいき健康づくり教育講座受講者募集

閩すこやか未来課健康増進係(保健センター内) ☎ 63-1133

医療・福祉に関する最新情報や健康づくりに役立つ情報を、専門職の先生が分かりやすく教えてくれます。新しい発見があるかもしれない、年に一度の貴重な機会です。ぜひご参加ください。5回以上受講した人には、講座修了証を発行します。

- 日時** 10月3日～11月21日(毎週木曜) 午後1時30分～3時30分
- 場所** 医師会館 会議室(宮内1092-18)
- 申込締切** 9月30日(月)
- 申込方法** 電話するか来庁して申し込み
 ※当日会場でも申し込みできますが、スムーズな受付のため事前に申し込みください。希望講座だけの受講もできます。
- 参加費** 無料
- 講習テーマ** 医療と福祉



▲昨年は、のべ700人以上が受講し、全8回とも大盛況でした

●**講習日程表**

	開講日	講習内容	講師(敬称略)
第1回 開講式	10月3日	認知症について ～認知症に向き合うために～	宮崎真寿美(市民病院認知症看護認定看護師)
第2回	10月10日	スマイル講座 ～認知症の方との関わり～ ※運動をします。動きやすい服装でお越しください。	①前田雄大(荒尾こころの郷病院作業療法士) ②川口達也(荒尾中央病院作業療法士) ③前田滉三(有明成仁病院作業療法士)
第3回	10月17日	歯科とアンチエイジング	藤本博(ふじもと歯科医院院長)
第4回	10月24日	①正しい睡眠習慣と薬物治療 ②健康サポート薬局って??	①安部正樹(市民病院薬剤師) ②瀬戸俊輔(瀬戸薬局薬剤師)
第5回	10月31日	糖尿病について	大久保美那(荒尾脳神経外科医院糖尿病・代謝内科医師)
第6回	11月7日	高齢者の骨折について	米村光信(市民病院整形外科医師)
第7回	11月14日	放射線検査でわかる病気の話	堺峰崇(市民病院放射線技術科技師長)
第8回 閉講式	11月21日	心の終活について ～心病む故に体病む 体病む故に心病む～	亀原了円(本井手みのり保育園長/西養寺住職)

9月10日(火)～16日(月)は自殺予防週間 私たちにできる4つのポイント

閩福祉課福祉係 ☎ 63-1406

- ①**気づき**
 心の悩みを抱えている人が発する周りへのサインになるべく早く気づき、耳を傾けてください。
【こころのサイン】
 ①気分が沈む ②自分を責める ③何にも興味がわかない ④仕事の能率低下 ⑤決断できない ⑥不眠が続く ⑦原因不明の身体不調 ⑧酒の量が増す ⑨自殺を口にする ⑩自殺未遂に及ぶ
- ②**傾聴**
 悩みを話してくれたら、本人の気持ちを尊重し、できる限り傾聴してください。

- ③**つなぎ**
 本人の気持ちを理解してくれる人に協力を求め、早めに専門の相談機関につなげてください。
- ④**見守り**
 温かく寄り添いながら見守り、体や心の負担が減るようにできるだけ協力してください。

【専門の相談機関】
 熊本いのちの電話 ☎ 096-353-4343
 熊本こころの電話 ☎ 096-285-6688
 県精神保健福祉センター ☎ 096-386-1166